

6次産業化による経営改善の取組支援

農業技術振興センター農業革新支援部

【普及活動のねらい・対象】

県では、農業者等の経営改善や地域活性化を目的に6次産業化の取組を推進し、「6次産業化を含む経営改善戦略等の策定事業者（令和2年度：8事業者）」を令和7年度までに33事業者に増やすことを目指しています。

6次産業化にあたっては、取組事業者に経営改善戦略策定、商品開発、加工、販路開拓、情報発信等の専門的な知識と実践力が求められます。そこで、取組事業者等を対象に、普及指導員と連携した相談対応と専門家派遣を通じて、6次産業化による経営改善の取組を支援しました。

【普及活動の内容】

普及指導センターと連携し、取組志向者に対して6次産業化等の取組を核とした「経営改善戦略（期間3～5年）」の作成支援と専門家のコーディネート・派遣を行い、戦略の実践を支援しました。延べ約90回の専門家派遣をしました。

また、取組事業者を支援する普及指導員を対象に経営指導力向上研修の実施、他地域事例の横展開、コーディネート内容の検討などの支援を行いました。

【普及活動の成果】

今年度は6事業者が新たに取組を開始し、過年度からの継続者とあわせて17事業者が6次産業化に取り組みました。さらに、この中の3事業者では6次産業化部門の付加価値額（経常利益、人件費、減価償却費の合計額）が増加し経営改善が進みました。年度末までに全事業者の経営改善状況を調査し、検証結果を踏まえて次年度以降も目標達成に向けて支援を継続します。

表 支援内容（例）

①	ブルーベリー体験農園開園準備、経営改善戦略作成	⑦	畜産部門と連携した米の商品開発
②	イチゴのネット販売と加工品開発	⑧	イチゴ観光農園の、加工品ラベルデザイン
③	施設トマト体験農園・農園カフェ開始	⑨	ワイナリー整備計画の検討
④	緑茶ペーストの商品開発・販路検討	⑩	直売所向けサツマイモ加工品開発
⑤	規格外トマトの加工品等開発	⑪	農園ロゴマーク作成、経営改善戦略検討
⑥	米の販路拡大と経営改善戦略検討	⑫	伊吹柿のドライフルーツ開発、ラベル等デザイン

◎対象者の意見

ドライフルーツの商品コンセプト作成や原価を踏まえた価格設定、商品ラベルやPOP作成、食べ方レシピ作成の支援を受けました。今後は利益を出す商品として販売します。（H氏／6次産業化実践者）